

2021年コレクション展 I

2021年2月13日(土) - 7月4日(日)

前期: 2月13日(土) - 4月18日(日)

後期: 4月24日(土) - 7月4日(日)

特集「同級生・同窓生」

小企画「^{えがわ} 颯川コレクション・^{ばいじよてき} 梅舒適コレクション受贈記念展」(後期会期に開催)

春季展示: 4月24日(土) - 5月30日(日)

夏季展示: 6月1日(火) - 7月4日(日)



国枝金三《さくら》
1934(昭和9)年
第21回二科展
当館蔵

開催趣旨

兵庫県立美術館では、作品の充実と、それらを積極的に紹介し変化ある常設展示室の演出を心がけるために、2019(令和元)年度より、1年を2回に分けて、それぞれ展示のテーマを設け、横断的にコレクションを紹介しています。

2021(令和3)年第I期では、特集「同級生・同窓生」において、いわゆる官展や団体展に出品された作品を、それぞれの展覧会ごとにまとめて展示します。

また会期後半の小企画では、2019(令和元)年に兵庫県が受贈した重要文化財・重要美術品を含む旧・颯川美術館のコレクションと篆刻家・梅舒適(1916~2008)が収集した中国近代書画・篆刻を核としたコレクションをお披露目する記念展を開催します。

展示概要

■ 特集「同級生・同窓生」

[常設展示室1~3]

- プロローグ 同窓生-美校を首席で卒業が誇り
- 第1章 同級生・同窓生-同じ釜の飯を食う
- 第2章 同級生-スター、誕生!?

■ 常設展示室4 近現代の版画-エルンスト、ミロ

■ 常設展示室5 近現代の彫刻

■ 小磯良平記念室

■ 金山平三記念室

■ 小企画「^{えがわ} 颯川コレクション・^{ばいじよてき} 梅舒適コレクション受贈記念展」

[常設展示室6]

開催情報

2021年コレクション展Ⅰ

会期 2021年2月13日（土）－7月4日（日）
 前期：2月13日（土）－4月18日（日）
 後期：4月24日（土）－7月4日（日）
 ※4月19日（月）－4月23日（金）は展示替えのため常設展示室を閉室

特集「同級生・同窓生」

小企画「^{えがわ} 額川コレクション・^{ぼいしょてき} 梅舒適コレクション受贈記念展」(後期会期に開催)

春季展示：4月24日（土）－5月30日（日）

夏季展示：6月1日（火）－7月4日（日）

開館時間 午前10時から午後6時（特別展開催中(4月9日(金)－7月3日(土))の金・土曜日は午後8時まで）
 ※入場は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日
 ※5月3日（月・祝）開館、5月6日（木）休館

会場 兵庫県立美術館（〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 TEL:078-262-0901 <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>）
 1階 常設展示室1、2、3、4、5
 2階 小磯良平記念室、金山平三記念室、常設展示室6
 ※常設展示室6では前期は工事中のため閉室、後期に小企画「額川コレクション・梅舒適コレクション受贈記念展」を開催

観覧料

区分	当日	団体 (20名以上)	特別展との セット料金
一般	500円	400円	300円
大学生	400円	300円	200円
高校生以下	無料	無料	無料

※一般以外の料金には証明できるもののご提示が必要です。
 ※毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団の協賛により無料です。
 ※団体鑑賞をご希望の場合は事前にご連絡ください。

[その他割引適用料金]

区分	当日	団体 (20名以上)	特別展との セット料金
70歳以上	250円	200円	150円
障がい者 一般	100円	100円	50円
大学生	100円	50円	50円

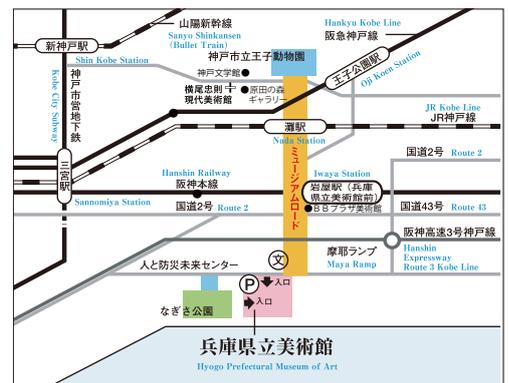
※障がいのある方1名につき、介護の方1名は無料です。

主催 兵庫県立美術館

協賛 **サンシティタワー神戸** (株式会社ハーフ・センチュリー・モア)
 公益財団法人伊藤文化財団

技術協力 (小企画のみ) 京セラ株式会社

担当学芸員 特集：相良周作・小林公・河田亜也子
 小企画：柏木知子・飯尾由貴子



【交通案内】

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
- ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
- ・阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
- ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）/阪神バス（HAT神戸行き）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）

展示概要と見どころ

■ 特集「同級生・同窓生」[常設展示室1～3]

当館所蔵品のうち、いわゆる官展や団体展に出品された作品を、それぞれの展覧会ごとにまとめて展示します。

【出品作家】新井完、古家新、津高一、斎藤義重など29作家を予定

【出品点数】前期：52点、後期：53点を予定(前期後期で展示替えあり)

プロローグ 同窓生－美校を首席で卒業が誇り

当館で記念室を設け、その画業を通年にわたり顕彰する金山平三と小磯良平は、それぞれ東京美術学校を首席で卒業したという共通点を持ちます。ここでは彼らの美校生時代の作品を展示し、また同校にわずか数年間だけ設けられた「臨時写真科」の卒業生である中山岩太の学生時代の写真作品もあわせて紹介します。

第1章 同級生・同窓生－同じ釜の飯を食う

戦前から戦後にかけての日本の美術界では、当時の文部省などが中心に開催した公募展「文展」「帝展」など、いわゆる官展が大きな影響を与えてきました。一方でそうした動きから距離を置き、研鑽を積む「二科会」や「独立美術協会」、「行動美術協会」といった在野の団体がそれぞれ展覧会を開き、その実力を世に問うてきました。

ここでは戦前から戦後にわたって、そうした展覧会の同じ回に出品された作品をあわせて展示します。



斎藤与里《春》
1918(大正7)年
第12回文展
当館蔵



新井完《あさがお》1928(昭和3)年
第9回帝展
当館蔵



飯田操朗《室内》1933(昭和8)年
第3回独立展
当館蔵



池田永治《まど》1934(昭和9)年
第15回帝展
当館蔵

第2章 同級生－スター、誕生!?

前章で紹介したように、それぞれの美術団体の出身であることが日本の美術界では大きな意味を持っていました。しかし官展や在野団体の区別なくすぐれた作品を結集したいという人々の思いは、1940(昭和15)年開催の「紀元二千六百年奉祝美術展覧会」をはじめとして実現し、それらの意向は戦後にもさまざまな形で実施されました。

ここではそれらのうちいくつかの同じ展覧会に出品された当館蔵品を紹介します。



津高一《血縁》1959(昭和34)年
第5回サンパウロ・ビエンナーレ
当館蔵(山村コレクション)



白髪一雄《天満星美髯公》1960(昭和35)年
第4回現代日本美術展
当館蔵

関連イベント

学芸員によるレクチャー、ミュージアム・ボランティアによるレクチャー、こどものイベントなど予定しております。詳細が決まり次第、当館Webサイトにてお知らせします。



■ 常設展示室4 近現代の版画—エルンスト、ミロ

当館の所蔵品の大多数を占める版画の中から、シュルレアリスムの巨匠マックス・エルンストとジョアン・ミロの版画作品を中心に展示します。

※ 前期後期で展示替えあり。

■ 常設展示室5 近現代の彫刻

当館の所蔵品の核ともなる内外の作家による彫刻・立体作品を紹介します。

■ 小磯良平記念室

清楚な女性像で名高い小磯良平の代表作を中心に展示します。



三島喜美代《Column-1》
1983-84(昭和58-59)年
当館蔵(山村コレクション)

■ 金山平三記念室

日本各地の風景を印象深く描いてきた金山平三の珠玉の作品から、水辺の風景に焦点を当てて中心に紹介します。



金山平三《洞爺湖》1939(昭和14)年
当館蔵

■ 小企画「^{えがわ} 穎川コレクション・^{ばいじょてき} 梅舒適コレクション受贈記念展」

[2階常設展示室6]

旧・穎川美術館のコレクションと「梅舒適コレクション」が兵庫県の所蔵となったことを記念して開催する小企画展。

2019(令和元)年、兵庫県は二つのコレクションを受贈しました。

穎川コレクションは、大阪の実業家・**穎川徳助(1899~1976)**の蒐集による日本美術を中心としたコレクションで、その過半は1971(昭和46)年に設立された穎川美術館(西宮市甲東園)に受け継がれました。

2019(平成31)年3月末に運営母体の財団が解体、重要文化財4件を含む約250件の美術品等が当館の所蔵に帰しました。

また**梅舒適コレクション**は、わが国を代表する**篆刻家として知られる梅舒適(1916~2008)**が、約60年にわたる歳月をかけて自ら蒐集した**文物**で、近世・近代の中国書画、文房具、典籍および梅舒適自身の書画篆刻作品等を、ご遺族よりご寄贈いただきました。

本展は、穎川・梅コレクションの中から優品や資料的価値の高い作品を選びすぐり、はじめて広く公開するものです。

※ 春季展示と夏季展示の2期に分けて展示替えあり。



長次郎
《赤楽茶碗 銘 無一物》(中興名物)
桃山時代(16世紀)
重要文化財
当館蔵(穎川コレクション)

技術協力:京セラ株式会社(2階常設展示室6では光の質にこだわった京セラ独自のLED技術により作品のありのままの色をご鑑賞いただけます。)

「2021年コレクション展I」 広報画像申込書

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp / FAX : 078-262-0903 兵庫県立美術館 営業・広報担当宛

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

特集展示
同級生・同窓生

1



齋藤与里《春》1918(大正7)年
第12回文展
兵庫県立美術館蔵

2



新井完《あさがお》1928(昭和3)年
第9回帝展
兵庫県立美術館蔵

3



飯田操朗《室内》1933(昭和8)年
第3回独立展
兵庫県立美術館蔵

4



国枝金三《さくら》1934(昭和9)年
第21回二科展
兵庫県立美術館蔵

5



池田永治《まど》1934(昭和9)年
第15回帝展
兵庫県立美術館蔵

6



津高和一《血縁》1959(昭和34)年
第5回サンパウロ・ビエンナーレ
兵庫県立美術館蔵(山村コレクション)

7



白髪一雄《天満星美髯公》
1960(昭和35)年
第4回現代日本美術展
兵庫県立美術館蔵

8



三島喜美代《Column-1》
1983-84(昭和58-59)年
兵庫県立美術館蔵
(山村コレクション)

9



金山平三《洞爺湖》
1939(昭和14)年
兵庫県立美術館蔵

小企画
瀬川コレクション・
梅舒適コレクション
受贈記念展

10



長次郎
《赤楽茶碗 銘 無一物》(中興名物)
桃山時代(16世紀)
重要文化財
兵庫県立美術館蔵
(瀬川コレクション)

●貴媒体の情報をご記入ください。

○媒体名(番組・雑誌名等): _____

○媒体種: 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他() _____

○掲載・放送予定日: _____ ○参考 URL _____

○原稿確認予定日: _____

※WEB掲載の場合、いずれかに○をつけてください。 コピーガード対応 可 ・ 不可

●申請者の情報をご記入ください。

○貴社名: _____

○所在地: 〒 _____

○ご担当者名: _____

○メールアドレス: _____

○電話番号: _____

●読者・視聴者プレゼント用招待券: _____ 組 _____ 名分を希望
(最大5組10名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです)

【画像使用に際しての注意事項】

- 「作家名」「作品名」「制作年」「展覧会名」「所蔵先」などを明記してください。
▼参考
「作家名」国枝金三
「作品名」「制作年」《さくら》1934(昭和9)年
「展覧会名」第21回二科展
「所蔵先」兵庫県立美術館
- 作品画像の加工(着色、トリミング、文字載せなど)はできません。
- 基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「営業・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。
- 掲載媒体を1~2部、もしくは URL、同録(DVD、CD)を「営業・広報担当」宛にお送りください。
- 画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます(会期終了まで)。
- 再放送、転載など二次使用をされる場合には、改めて申請願います。

兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、
取材希望日の3営業日前までに
 メールまたはFAXにてお申込みください。

お申込日 年 月 日

メール送付先: press@artm.pref.hyogo.jp / FAX送付先: 078-262-0903

取材内容

希望日時	第1希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
	第2希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
	第3希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
希望場所										
企画内容										
カメラ撮影	<input type="checkbox"/> あり	スチール	台		ムービー	台		三脚/脚立	台	
	<input type="checkbox"/> なし									
取材人数	人	取材時の代表者名								
媒体種別	<input type="checkbox"/> テレビ	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 新聞	<input type="checkbox"/> Web	<input type="checkbox"/> その他()					
媒体名										
掲載・放送 予定日時	<input type="checkbox"/> 掲載	年	月	日	曜	時	分			
	<input type="checkbox"/> 放送									

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-mail	

- * 企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- * 作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。
- * 掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 営業・広報担当(細田・村上・有田)
 〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 TEL:078-262-0905 FAX:078-262-0903 Mail:press@artm.pref.hyogo.jp